



2016年じぞうもじカレンダー

書家 夕深
じぞうもじ

2016年じぞうもじカレンダー

2016年からカレンダーの書きを担当しました。その結果は、電子に対するものからです。私は何よりも手書きでよく自分で書くのですが、そこで「じぞうもじ」の書道は、筆の運びがとても良いと感じました。自分で書くよりも、他の人の手で書かれた方が、より心地よいと感じます。

2016年じぞうもじカレンダー

2016年は、早めにお知らせをしました。カレンダーの注文が来なくて心配のご連絡をいたしました。幸運なことに、大変お待たせをいたしました。2016年は、テマを「祈り」といたしました。一年を通して皆さまが幸運を願い、毎月カレンダーをめくついていただけたらと思っています。

じぞうもじって何ですか？ 誰かに師事してもらつたんですか？ どうして「じぞうもじ」を考えたんですか？ イベントで出逢う人々に、よく尋ねられます。私は小さい頃から書道を習つており、小学生のときは漫画家になりたいという夢がちよつとあつたほどで学生の時は勉強そつちのけで美術が大好きでした。それが融合したようになってきたのが「じぞうもじ」なのです。文字には意味がありますが、その表情は筆が走る線の勢いや流れでしか表すことができません。書道を極めようとしたが、現代では読めないものを書くようになり、私の中で筆を持つ魅力が半減していました。どんなにきれいに美しく力強く書いて

わらなければ、と思いまして。そして、子供でも大人でもわかるように伝わることで書きたいと思つたことを伝えています。自殺予防週間に街頭啓発活動で元気の出る標語シールを無料配布するのですが、その標語をお地蔵様を入れて書いて欲しいと。内容で、NPO法人の会員や自殺企図者として保護された方々から「元気の出る標語」を募集しそのなかから選出された十点をシールにいえば、最近はパフォーマンス的なものも多く見受けられ若い人にもなじみが出ています。そんな中で、「じぞうもじ」は、一人歩きをしていると思うほどに多くの人の心に浸透していくことがあります。東尋坊（福井県）の茂幸雄さんは、警察署勤務時代に東尋坊で自殺防止のパトロールを始め、定年退職後も続けてこられました。2004年に警察OBや元教諭らとNPO法人「心に響く文集・編集局」を立ち上げ、自殺志願者の相談所を東尋坊内の空き家に開設。これまでに500人を超える自殺志願者を保護してきました。茂さんのその活動を7年ほど前にテレビでたまたま見たときに、自殺しようとしている命を

2016年カレンダー完成

やすらぎのじぞうもじをあなたに

じぞうもじ

No.8
2015年10月1日発行
発行者 夕深
981-1107
仙台市太白区
袋原郵便局留
問い合わせ先
090-6221-6611

東尋坊からの依頼

ある日、携帯に「東尋坊の茂です。」とお電話がありました。自殺予防週間に街頭啓発活動で元気の出る標語シールを無料配布するのですが、その標語をお地蔵様を入れて書いて欲しいと。内容で、NPO法人の会員や自殺企図者として保護された方々から「元気の出る標語」を募集しそのなかから選出された十点をシールにいえば、最近はパフォーマンス的なものが多く見受けられ若い人にもなじみが出ています。そんな中で、「じぞうもじ」は、一人歩きをしていると思うほどに多くの人の心に浸透していくことがあります。東尋坊（福井県）の茂幸雄さんは、警察署勤務時代に東尋坊で自殺防止のパトロールを始め、定年退職後も続けてこられました。2004年に警察OBや元教諭らとNPO法人「心に響く文集・編集局」を立ち上げ、自殺志願者の相談所を東尋坊内の空き家に開設。これまでに500人を超える自殺志願者を保護してきました。茂さんのその活動を7年ほど前にテレビでたまたま見たときに、自殺しようとしている命を

(裏面に続く)

なんとか助けたいと一生懸命されている活動を応援したい気持ちになりました。そんなことから茂さんと小さな交流が始まったのです。やすらぎのじぞうもじ新聞の感想のお電話をいただいたり、その一言がとても嬉しいものです。私は東尋坊へ行つてパトロールをすることは出来ないけれど、何かの力になれたら、と思う気持ちが今回このような力で実現出来たことは、タチであります。

左記の「坂」は、シールになつた標語の一つです。茂さんの活動をこれからも応援します。

人生じは
たのし、
下り坂
くらし、
登り坂と
まわるやふる

読んで字の「じぞく」、「生活」は日々の生活のことを言いますが、文字を分解する活かして生きる、と書いています。それは、何をするといふことではなく、魂を活かして生きる、という意味のように思います。五感があることで、いろいろな感情が生まれてきますが、生きる中心にあるものは、五感に左右されない自分らしさを発見して生きることを五感に頼れば、比べたり出来ないことを不自由に思

生 活

い、生きる幅が狭まります
が、自分の素晴らしさを見ることは、生きる幅が広がることでもあります。
同じモノを与えられて、不公平に思う人もいれば、大きな感謝を感じる人もいます。それは、心の物差しが人それぞれ違うということであり、また、それは難しいけれど、心次第で自由に誰でも変えられることであります。自己選択と自由意志、それは、転機として受け止めるか、偶然として流すか、その連続が今を作つていきます。どんな選択であつても、どちらも間違ひではありません。

「これまでのカレンダーをはがすたびに、下の部分を切り取り、じぞうもじだけをとつておき、上方をパンチで穴を開けてリングを通しておいてくれていること、さらにいろいろなアイデアを教えてくださる「じぞうもじファン」には、いつも感謝でいっぱいです。

● 郵便払込口座	02240-2-117824
□ 座名義・じぞうもじ工房	字馬乙2-1
お問い合わせは、このままで	日曜日に書き下ろしをして
jizoumoji@j.email.ne.jp	います。十時半から一五時
・・・・・	まで。

★秋保木の家・手しおと館(仙台市太白区秋保町湯元字馬乙2-1)にて毎月最終日曜日に書き下ろしを行つています。十時半から一五時まで。

★十月は2回の書き下ろし予定です。

日程・十一日と二十五日時間・十一時～三時まで

自作で日めくりに

じぞうもじカレンダー

カレンダー一部一一〇〇円
発送の際、荷造り送料がかかります。カレンダー希望部数代金と合わせてお振り込みください。

□ 1部 450円
□ 2～3部 500円
□ 4～6部 610円
□ 7～9部 760円
□ 10部以上は、ゆうパック(地域によって変動)



魂を活かして生きる

今後の予定